

環境 × 意匠の分野横断型建築設計作品の事例紹介①

小畑拓未 研究室

活水女子大学 健康生活学部 生活デザイン学科

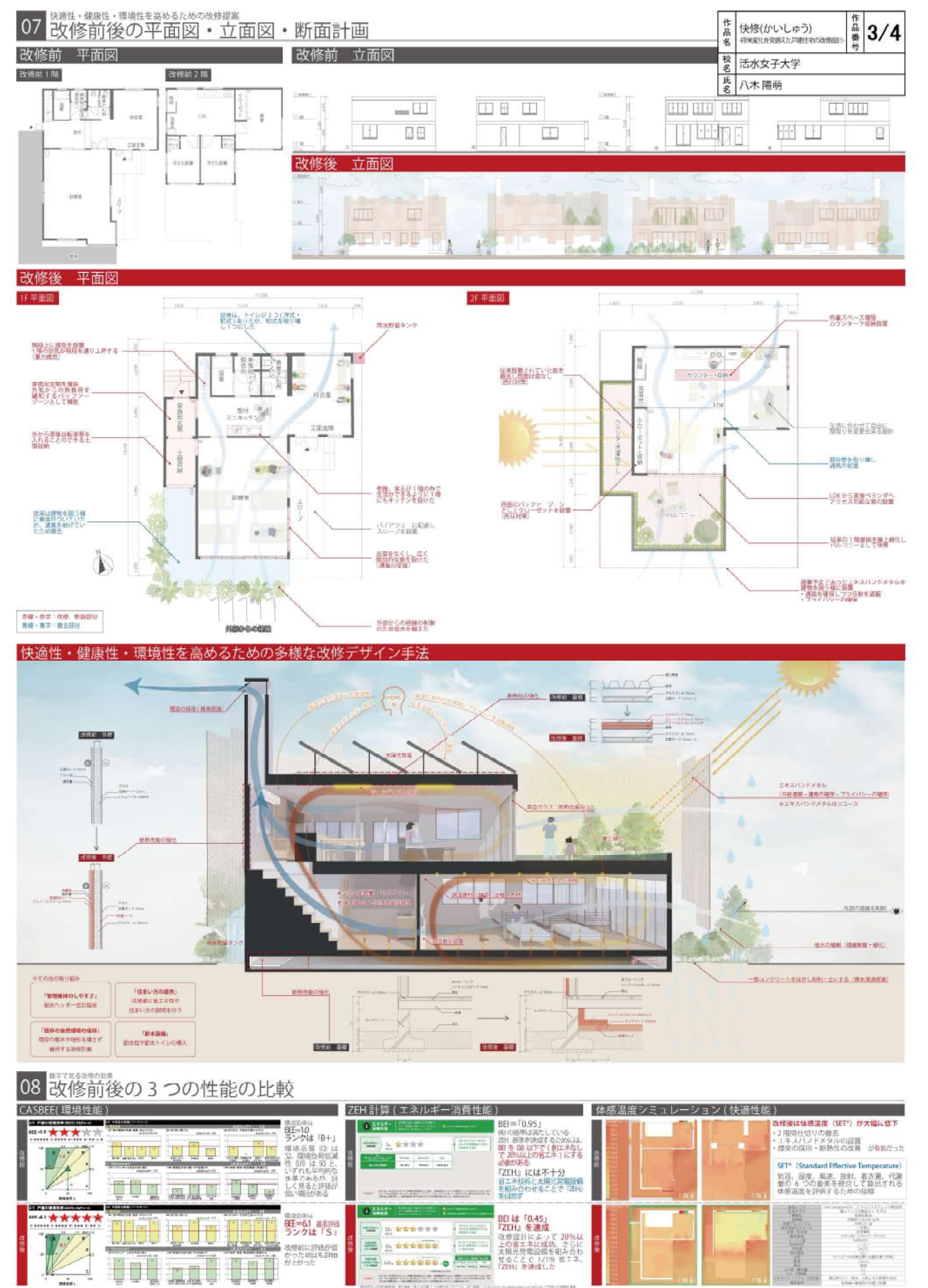
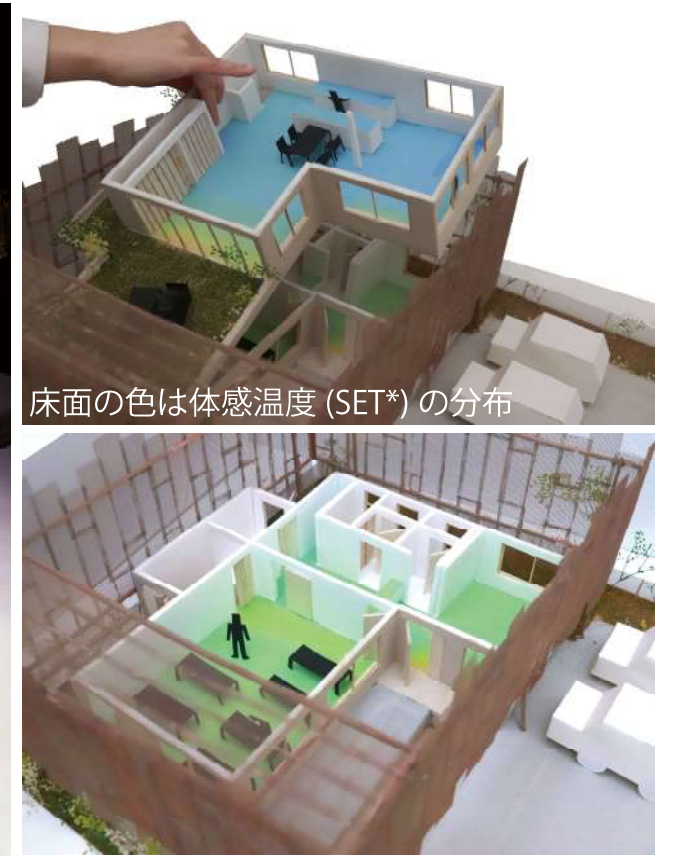
Kwassui Women's University, Faculty of Wellness Studies, Department of Design and Science for Human Life

日本建築学会 第 67 回全国大学・高専卒業設計展示会 出展作品

快修（かいしゅう）—将来変化を見据えた戸建住宅の改修設計—

【設計趣旨】

地球温暖化によるさらなる気温上昇や、子どもの独立といった将来のライフステージの変化を見据え、整骨院兼住宅の改修設計を行った。CFD 解析、温熱シミュレーション、昼光シミュレーションを活用し、省エネルギー性と快適性を両立する空間へと改修した。さらに、エネルギー計算により ZEH 基準の達成を確認し、CASBEE では最高評価である S ランクを獲得した。住宅を包むエキスパンドメタルは、日射遮へい、通風・採光の確保に寄与するとともに、新たな外観の創出にも貢献している。



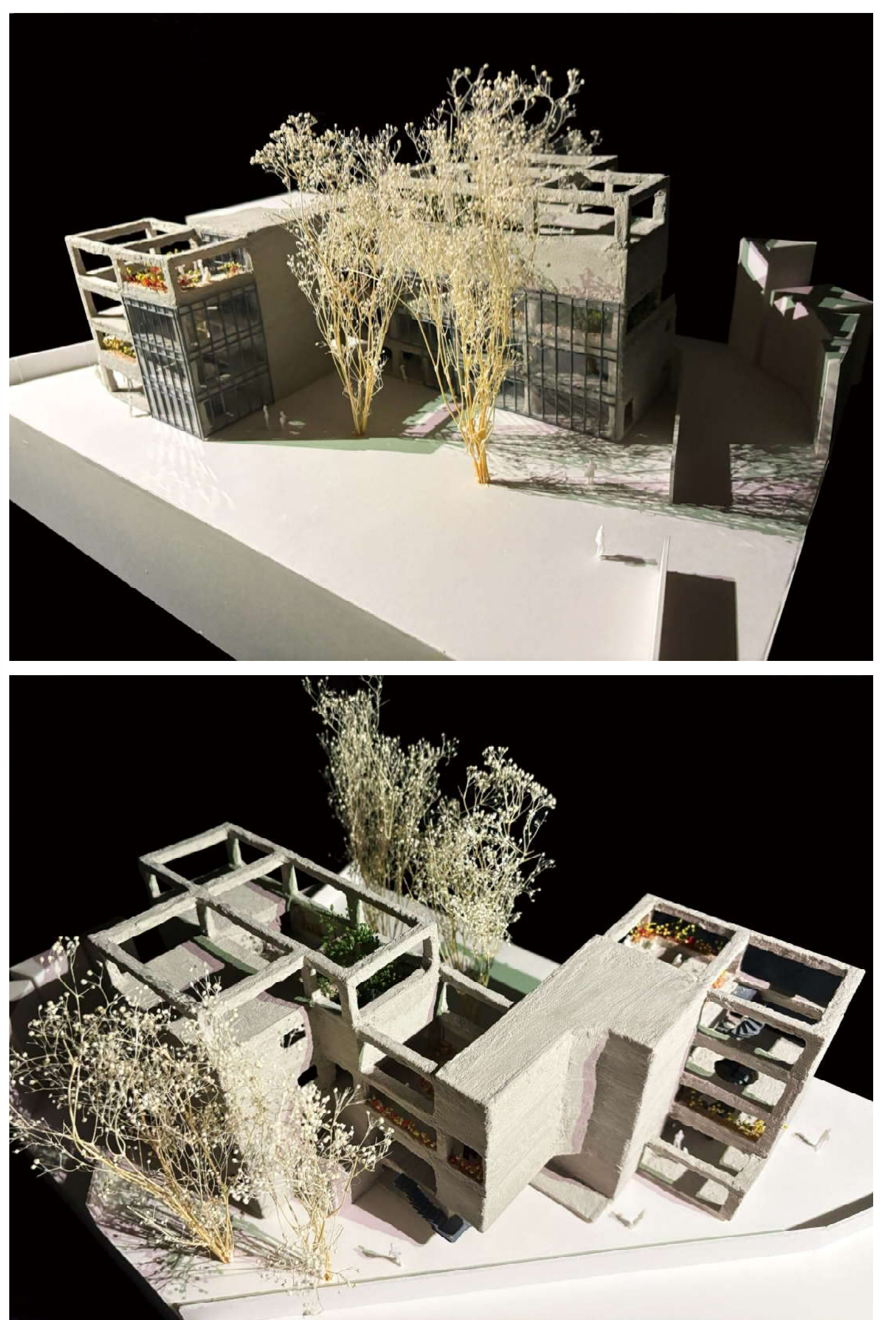
第 3 回学生のための環境デザイン設計競技 2025 優秀賞受賞

— + (まいまいぷらす) 減築による半屋外環境の形成

【設計趣旨】

減築によって室内空間を減らすことは、冷暖房や照明にかかるエネルギー消費を抑え、温室効果ガスの排出削減につながる他、耐震性能向上に寄与する。半屋外空間は、人と自然を調和させ、環境負荷を抑えつつも、光や風といった自然を感じられる豊かなスペースである。地球温暖化がこれから進行していく中で、寒い期間が短くなることから半屋外空間の可能性はさらに広がっていくだろう。我々は、この半屋外空間に着目し、使われなくなった校舎を減築することで、環境に配慮しながら防災性能を高め、学びや憩いの場を増やすことを試みた。

大学院生が多く参加する中で、本研究室 3 年生が優秀賞を受賞しました。



環境 × 意匠の分野横断型建築設計作品の事例紹介②

小畑拓未 研究室

活水女子大学 健康生活学部 生活デザイン学科

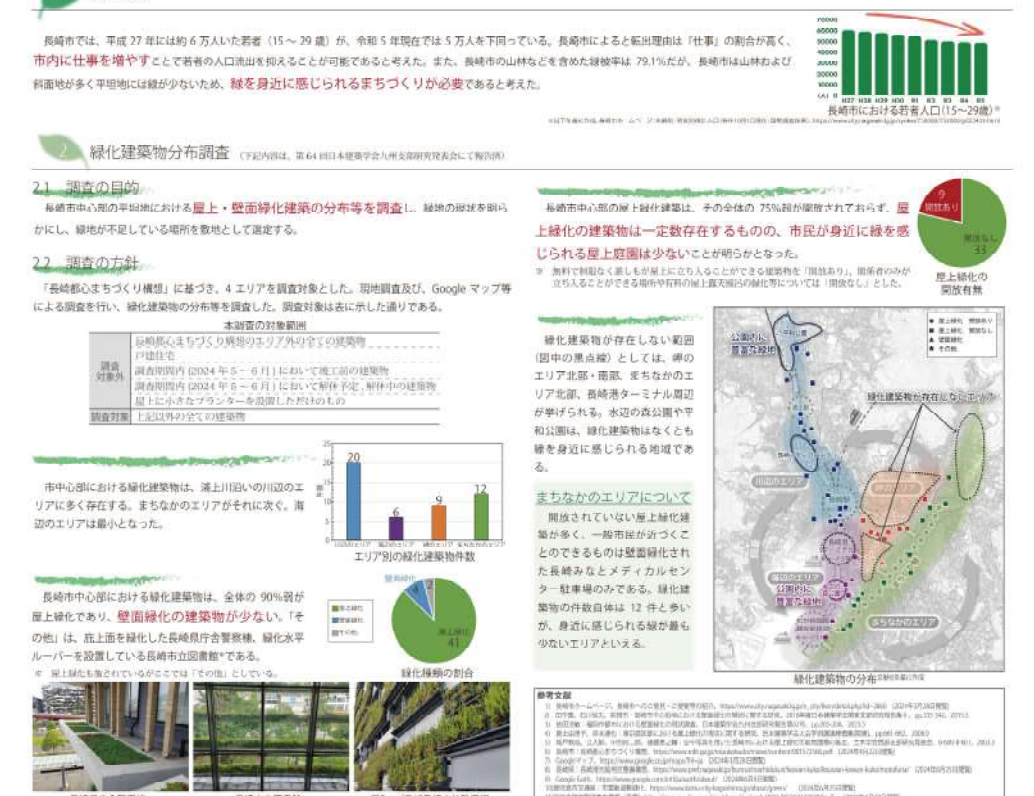
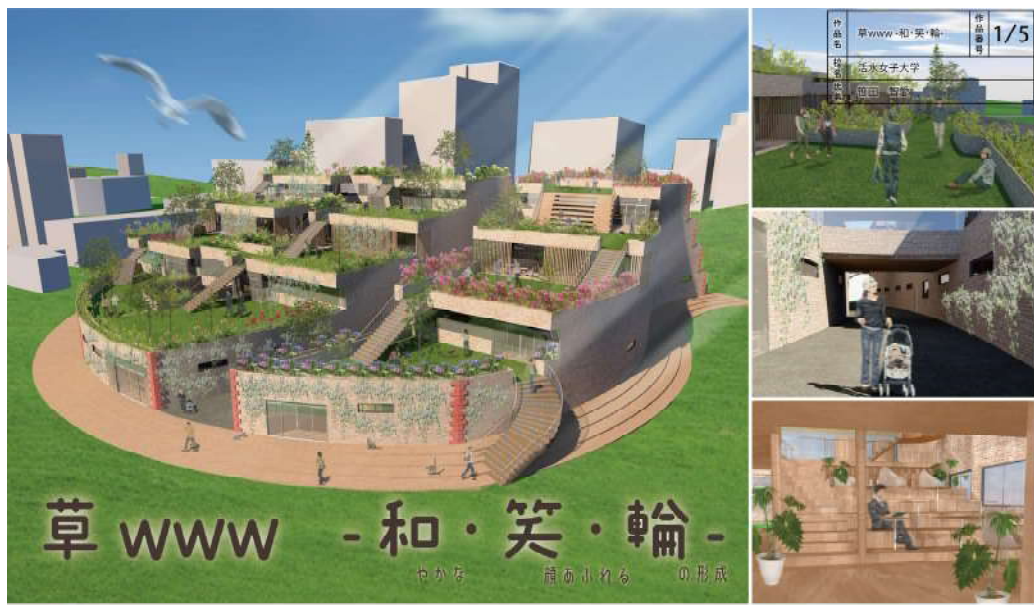
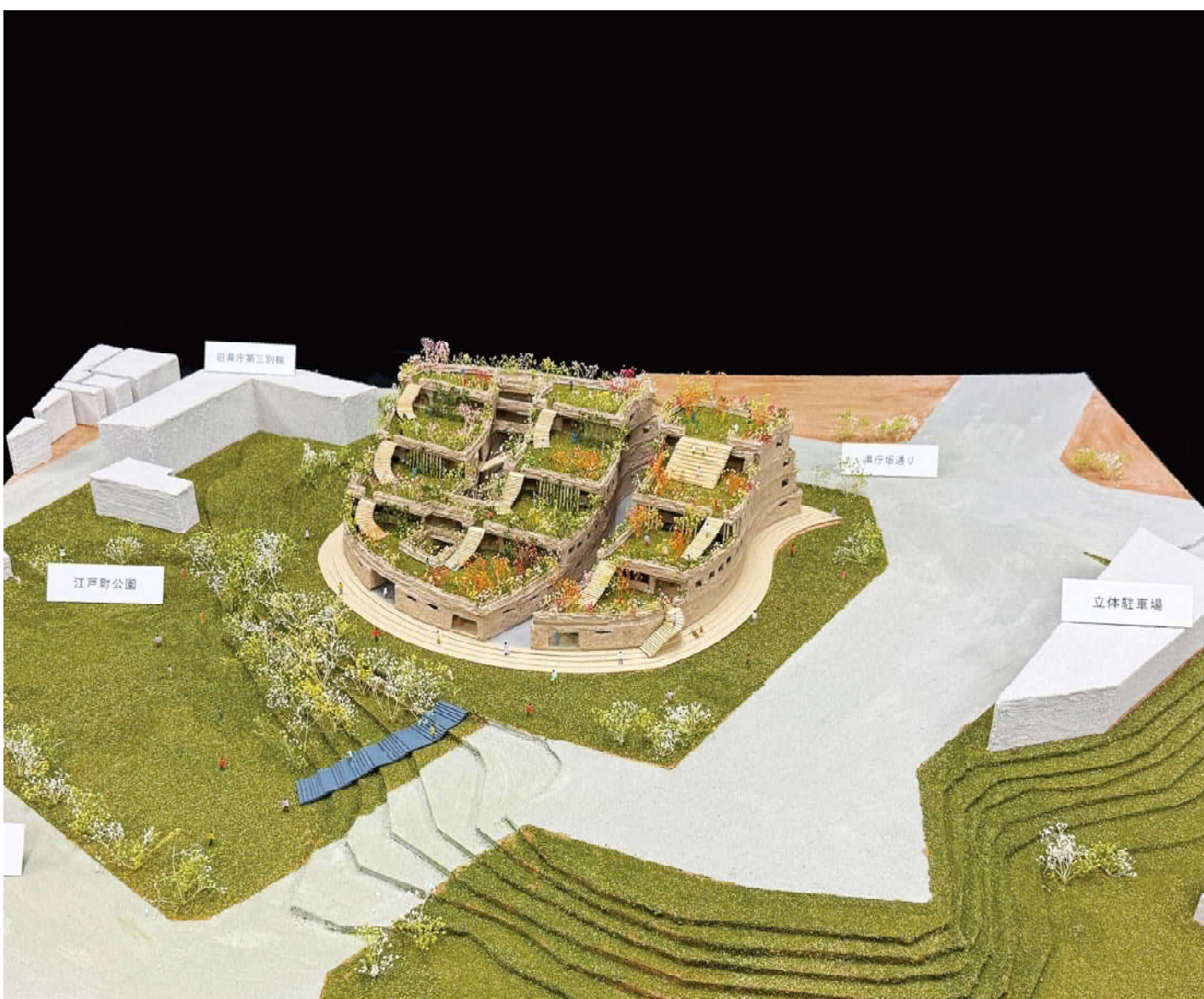
Kwassui Women's University, Faculty of Wellness Studies, Department of Design and Science for Human Life

日本建築学会 第66回全国大学・高専卒業設計展示会 出展作品

草 www - 和・笑・輪 -

【設計趣旨】

長崎市の平坦地を対象に緑化建築物の分布調査を行い、緑化建築および緑地が周囲に少ない長崎県庁跡地を敷地として選定した。また、長崎市平坦地には壁面緑化および一般市民に開放された屋上緑化が少ないことが明らかとなったため、一般市民に開放された緑化建築物を計画した。用途はスマートウェルネスオフィスを中心とした複合施設であり、ワーカーの健康性、知的生産性を最大化するための様々なデザイン、取り組みを散りばめている。



COOL SUNNY inasa 2024 - 稲佐山公園における屋外暑熱環境の改善提案 -

【設計趣旨】

稲佐山公園芝生広場における暑熱環境の改善を試みた提案である。空中庭園を設置し日影を落とすとともに、ミスト噴霧、通風確保によって、涼しさを創出、体感温度（SET*）のシミュレーションによってその効果を確認している。ステージへの視線と通風を確保すべく、「山の上の帆船」をイメージした吊り構造によって屋上庭園を支え、柱の数を最小限にとどめている。

